

## 市外民間事業者の観光産業への参入は

ネットワークを活かし、民間企業の招聘しょうべいを図る



杉浦 文平  
無所属クラブ

### 渥美半島のテロワール（風土）を活かした観光施策について

- 問** 北海道トマムにある「雲海テラス」のような自然現象を活かした新たな取り組みは。
- 答** 今ある施設がより集客効果を発揮できるよう、他の地域の成功例を参考にしながら、運営事業者と調整を図っている。
- 問** 北海道真狩村にある「レストランマッカーナ」のような食を活用した第三セクターの取り組みは。
- 答** 民間の営利活動なので、行政目的との整合性、費用対効果を踏まえ、連携・支援を図っていく。
- 問** 三重県菟野町にある「アクアイグニス」に見られる温泉と食の融合施設で集客を図る考えは。
- 答** 温泉のみで直接的な集客向上効果を見込むことは難しいが、食は重要な要素。商工会とも連携しながら、市内事業者の経営品質向上に取り組む。
- 問** 有名シェフによる監修・運営のレストランの成功例があるが、市で取り組む考えは。
- 答** 田原市と継続的な関わりを持つシェフがいれば、連携を検討したい。

- 問** 滋賀県大津市にある「商店街ホテル 講 大津百町」は空き家となった宿場町の建物を改築し、ホテルとしてよみがえらせた。観光だけでなく、まちの活性化にもつながると思うが、市の考えは。
- 答** このホテルはメディア事業者と連携した事例である。このような事業者があれば、連携したい。
- 問** 今後、市外の民間企業の参入を増やしていくことが重要だと思うが、市の取り組みは。
- 答** 地域の事業者、学識者などのネットワークを活かしながら、民間企業招聘しょうべいの機会拡大を図っている。



ホテル「講 大津百町」  
〔写真引用元〕 <http://hotel-koo.com/>

## 今期最終号です

この議会だよりが、今期4年目の最終号となりました。

任期と同時に、広報特別委員会から広報広聴特別委員会となり、広報活動に加え、広聴活動の充実も図ってきました。

今期の委員会では、12ページに記載したような新しい取り組みだけでなく、すでに取り組んでいた「議会報告会」「議会だよりの編集」をはじめとする議会の広報広聴活動を持続可能なものとするため、マニュアル作りも行うなど、「市民に開かれた議会」を具現化するため、積極的に活動してきました。

議会だよりを今までご愛読いただき、ありがとうございました。次回からは、広報広聴委員会の新しいメンバーでお届けします。

### 〈広報広聴特別委員会〉

委員長	赤尾 昌昭
副委員長	小川 貴夫
委員	河邊 正男
	平松 昭徳
	森下田嘉治
	古川 美栄
	中神 靖典
	岡本 禎稔

